



金曾木だより

台東区根岸4-16-22 TEL 03(3876)3701 FAX 03(3871)9507
<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310218>

令和5年度 10月号
台東区立金曾木小学校
校長 細田 儀広
令和5年9月29日(金)

教育目標 たくましい子 自ら学ぶ子 思いやりのある子 自分のよさを伸ばす子

心を動かすナラティブ

副校長 前田 剛一

「narrative (ナラティブ)」という英単語があります。私には馴染みのない単語でしたが、英和辞典で調べてみると、「物語」とか「物語体」という意味が載っていました。ちなみに、ナラティブの一つ前には「narration (ナレーション)」があり、こちらの単語には馴染みがありました。

さて、このナラティブですが、時と場合によって、良くも悪くも人を動かすための大きな力となるという話を、最近、あるメディアを通して耳にしました。社会が大きく動くとき、指導的な役割を担う人物が現れ、民衆を動かす大きなうねりを生む。そういった人物が民衆に語りかけるとき、ナラティブの力がはたらくそうです。もちろん、そのとき起こった改革や革命は、後から歴史的に検証され、その善し悪しが議論されることになります。そういえば、学習をするとき、年号と固有名詞だけを暗記しようとするとなかなか覚えられないのに、歴史の学習まんがを読んだり、大河ドラマを観たりすると、起承転結のある物語として捉えられ、覚えられるというようなことがあります。ナラティブが脳のある部分を刺激すると、論理的に説得されるよりも人は主体的に行動することがあるそうです。

私は職業柄、多くの教員やゲストティーチャーが子どもたちに話をする場面を見てきましたが、子どもたちの気持ちをのせるのが上手な人は、意識はしていないかもしれませんが、話がナラティブになっているような気がします。子どもが話に引き付けられ、話を聴くうちに、話の趣旨を自分事として捉えたりやる気になったりするのです。

金曾木小学校はこの秋、様々な取り組みや行事があります。10月4日(水)には、創立120周年記念児童集会。5日(木)には、アスリートをゲストに迎えての笑顔プロジェクト。6年生は台東区立小学校連合運動会が17日(火)にあります。21日(土)には、PTA主催の金曾木120FES。11月に入ると、いよいよ11日(土)に創立120周年記念式典。25日(土)は、創立120周年記念音楽会があります。

それぞれの活動や行事を通して子どもたちを成長させるためには、子どもたち自身のやる気が原動力となります。学校では、「未来に向かってかがやこう」を合言葉に、目標に向かって子どもたちの心のエンジンが駆動するよう働きかけていきます。そして、子どもたちにとって思い出深いナラティブとなる秋にしていきます。